

アレクサンダー・ネオヴエ・ピアノ・リサイタル

北欧の深淵が育んだ、音の美学

Leif Ove Andsnes Piano Recital

リスト：詩的で宗教的な調べ S.173より
第8曲パレストリーナによるミゼレーレ

Liszt: Poetic and Religious Harmonies S.173 No. 8 "Miserere after Palestrina"

リスト：コンソレーション S.172

Liszt: Consolations S.172

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第32番ハ短調 Op.111

Beethoven: Piano Sonata No.32 in C Minor Op.111

シューマン：謝肉祭 Op.9

R. Schumann: Carnival Op.9

2025年10月30日(木) 19:00開演 18:20開場 (21:00 終演予定)
7:00 p.m., Thursday, October 30, 2025 at Tokyo Opera City Concert Hall

東京オペラシティ コンサートホール 京王新線「初台駅」東口(直結)徒歩5分

S¥9,000 A¥7,500 B¥6,000

※チケット料金には消費税が含まれております。※学生券および特別割引についての詳細は裏面をご覧ください。
※先行発売などで満席になった席種は、以降発売されない場合がございます。

5月24日(土) 前売開始 ジャパン・アーツぴあオンラインチケット 5月17日(土)

お申込み

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

チケットぴあ t.pia.jp <Pコード: 298-387>

イープラス eplus.jp

ローソンチケット l-tike.com <Lコード: 36486>

【主催】 ジャパン・アーツ 【後援】 ノルウェー大使館 【協力】 (株)ソニー・ミュージックレーベルズ



Norwegian Embassy
Tokyo



© Helge Hansen Sony Music Entertainment



© Helge Hansen
Sony Music Entertainment

レイフ・オヴェ・アンズネス 2025年来日公演 アンズネスのリサイタルへの期待

平野 昭 (音楽評論家)

この秋アンズネスのピアノが聴ける、ソロ・リサイタルでだ。予定された演奏曲目に驚かされた、というより一気に期待が高まった。ベートーヴェンとシューマンとリストの作品が並んでいる。ドイツ・ピアノ音楽の主要レパートリーとして多くのピアニストが取り上げるものだが、一晩のプログラムをこの3人の作品で組むのは稀だ。ただ得意曲目を並べただけではないのだ。アンズネス自身がプログラミングのコンセプトについて次のように語っている。前半のリストとベートーヴェンの作品では「精神の慰めと超越を感じられる世界観」を、後半のシューマンでは標題音楽的な小品連鎖の組曲で「色彩豊かな演劇的世界観」「生命力、人生への若々しい意欲」を表現したい、と。また「演奏者と聴き手による美しい会話」の時空を生み出したいとも語っている。

アンズネスの魅力はあらゆる点で明晰な表現にある。まず、音が明澄であること、そして自在でありながら知的にコントロールされた多彩なアーティキュレーションによって表情豊かな音楽を生みだし、その結果として形式的な構成や音素材の構築性が浮かびあげられるのである。一切の誇張表現を嫌うが、きわめてセンシティブな緩急法（アゴーギク）と強弱法（デュナーミク）を駆使して音楽それ自体が要求する自然な流れと最高の響きを顕在化させる音の探求者がアンズネスなのである。また、ベートーヴェン以後の作品の底流に潜在する文学的エレメントと詩的抒情と精神性を追い求めるのもアンズネスであり、今回のリサイタルはまさにその現場に立ち会うことと言えるだろう。

レイフ・オヴェ・アンズネス(ピアノ) Leif Ove Andsnes, Piano

強力なテクニックと綿密な解釈で国際的な名声を獲得しているノルウェーのピアニスト。ニューヨーク・タイムズでは「威厳ある優美さ、力強さ、洞察力を有するピアニスト」と評された。世界有数のコンサートホールへの出演、著名オーケストラと共演を重ねている。2024/2025シーズンは、ベルリン・フィル、ニューヨーク・フィル、ロンドン響、サンタ・チェチリア管、ゲヴァントハウス管、バリ管、チェコ・フィル、NDRエルブ・フィルなどと共演。リサイタルでは、カーネギー・ホール、ウィグモア・ホールなどを含むツアーを行う。録音にも精力的に取り組み、これまでにグラミー賞に11回ノミネートされ、グラモフォン賞7回を受

賞。様々な国際的な賞を受賞した。2023年には、EMIクラシックスとヴァージンでの録音を集めたCD36枚のボックスが発売され大きな話題を呼んだ。ソニー・クラシカルからは、最新CD「リスト：十字架の道行き&コンソレーション」がリリースされた。アンズネスは、ノルウェーの最高の名誉とされるノルウェー王国聖オラフ勲章コマンドーを受章したほか、政治、スポーツ、文化の分野で顕著な成功を収めたノルウェー人に与えられるベール・ギュント賞など数々の賞を受賞。1970年ノルウェーのカルメイ生まれ。ベルゲン音楽院で高名な教授、イルジ・フリンカに師事。

今回のリサイタルでは、2つの側面から成るプログラムをお届けします。前半は、精神の慰めや超越を感じられる世界観です。リストの作品からは、彼が宗教的な信念のもと、精神的なメッセージを捜し求めていたことが読み取れます。特に＜コンソレーション＞は、そのような精神世界との密接な繋がりを持っており、まるで演奏者と聴き手による美しい会話のようです。それと同時に、本作品における空間や息遣いも魅惑的です。

＜パレストリーナによるミゼレーレ＞は、敬虔さとロマン派の激しさが融合した、リスト特有の恍惚とした雰囲気を感じられます。

ベートーヴェンのソナタOp.111は、私が知っている中で最も魅力的な作品のひとつです。人間の葛藤や弱さ、疑念を表現しつつ、それと同時に強さ、光への渴望、そして至福とその超越の瞬間をも内包しています。

プログラムの後半はまったく対照的で、謝肉祭を訪れるという色彩豊かで演劇的な世界観を用いて、私たちを社会や日常へと引き戻します。シューマンの初期ピアノ作品は、最もユニークな標題音楽曲のひとつで、作品を通してショパンやバガニーニ、クララ・シューマンをはじめとした友人や音楽仲間、そして彼が想像するさまざまな登場人物が描き出されています。とても陽気な曲で、生命力や人生への若々しい意欲に満ちており、ピアノの作風は多様なテクニックや技巧、豊かな色彩が大きな魅力です。

レイフ・オヴェ・アンズネス

レイフ・オヴェ・アンズネス 2025年日本公演スケジュール

- 10/24(金) NHKホール (NHK交響楽団と共演)
(問) N響ガイド Tel. 0570-02-9502
- 10/25(土) NHKホール (NHK交響楽団と共演)
(問) N響ガイド Tel. 0570-02-9502
- 11/1(土) フィリアホール (横浜市青葉区民文化センター)
(問) フィリアホールチケットセンター Tel. 045-982-9999
- 11/3(月) 兵庫県立芸術文化センターKOBELCO
(問) 芸術文化センターチケットオフィス Tel. 0798-68-0255

＜特別割引チケットのお知らせ＞

(ジャパン・アーツびあオンラインチケット及びジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

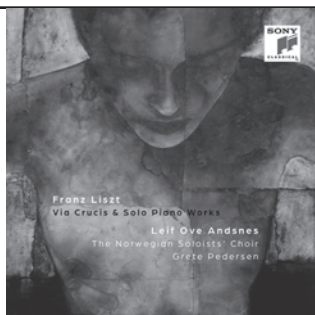
- ◎ **学生券**(各席種の半額)：社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。残席がある場合に限り、9月30日(火)より受付を開始します。当日は学生証を提示の上、ご入場下さい。(学生証がない場合、一般価格との差額をいただきます。)
- ◎ **シニア割引**：65歳以上の方は、シニア料金 (S ¥8,100 A ¥6,800) でお求めいただけます。
- ◎ **車椅子の方は**、本人と付き添いの方1名までが割引になります。必ず事前にご予約ください。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。

- ①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意下さい。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の入場はご遠慮下さい。なお、就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。券面に記載された指定の座席にてご鑑下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場頂く場合がございます。

X (旧Twitter)でフォローする
X @japan_arts

LEIF OVE ANDSNES



絶賛発売中 **BSCD2**
定価 ¥2,970
(税抜価格 ¥2,700)
CD ● SICC 30906

Hi-Res 96kHz/24bit
AUDIO ハイレス/配信中

レイフ・オヴェ・アンズネス 最新アルバム リスト：十字架の道行き&コンソレーション

リスト：十字架の道行き S.53 / コンソレーション S.172* /
詩的で宗教的な調べ S.173 より 第9曲 アンダンテ・ラグリモーソ、
第8曲 パレストリーナによるミゼレーレ* (*：公演曲収録)

〔演奏〕レイフ・オヴェ・アンズネス (ピアノ)、グレーテ・ペーデセン (指揮) ノルウェー・ソロイスト合唱団
〔録音〕2024年8月23～27日 ノルウェー、オスロ、リス教会
解説：レイフ・オヴェ・アンズネス、マルコム・ヘイズ / 歌詞対訳付き

静謐で瞑想的な響きで歌いだされる最晩年のリストの魂。

19世紀ヨーロッパ音楽界を席卷した作曲家リストが最晩年に心血を注いだピアノ独奏付きの大作合唱曲「十字架の道行」。イエスの受難を14の場面に分けて描く絵画を音で表現した宗教音楽で、グレゴリオ聖歌やバッハの受難曲の影響を受け、シンプルな旋律や和声と半音階的でシェーンベルクを想起させるような無調の部分とが並立し、ヨーロッパ音楽の長い歴史を1曲に内包されたような趣があります。ノルウェー屈指の女性合唱指揮者グレーテ・ペーデセン指揮するノルウェー・ソロイスト合唱団の透明で立体的なハーモニーがリスト最晩年の心意気を伝えます。カップリングは、リストのピアノ曲では「愛の夢」と並ぶ代表作「コンソレーション」の全曲、そして「詩的で宗教的な調べ」からの2曲。

Sony Music Labels Inc.

